

感染症防止策を講じて、

お口の健康相談会を開きました

2020年度 6回開催し、延べ15人が相談に

共催：歯科保健研究会・わたなべ往診歯科、西成市民館

今年度は4月から新型コロナウイルス感染症の蔓延という厳しい状況の中で、感染防止に配慮しながら、歯科保健研究会ならびにわたなべ往診歯科にご協力いただいて、「お口の健康相談会」を開催することができました。両団体及び歯科医の先生、歯科衛生士の皆さんにお礼申し上げます。

歯の治療と言えば、痛いというイメージがあり、どうしても治療に行くことを避け、結果として虫歯を悪化させたり、歯槽膿漏を放置してしまいがちのようです。また、健康保険を持



っていないことで、治療費がかかることも治療を避ける要因と思われます。その結果、虫歯などの歯の病気の悪化にとどまらず、歯そのものを無くしてしまう方が多く見受けられます。

このようなことにならないように、早期に歯の検診を受け、治療に繋げることが必要と思います。また、すでに歯のほとんどない人も、食べ物を味わうことや食べ物の消化のことを考えれば、入れ歯を作ることも大切と思います。

市民館では、今後も両団体に協力いただきながら、歯の大切さ、日ごろよりの歯の手入れ、歯の観察と治療を広めていきたいと考えています。皆さんの参加をお待ちしています。

★相談会では、歯科医師に、歯や入れ歯の観察、治療についての相談に乗っていただきます。歯科衛生士からは歯磨き指導などの相談に乗っていただきます。

☆2021年度についても、「歯科保健研究会」「わたなべ往診歯科」の皆さんのご協力により、「お口の健康相談会」を開く予定です。

※この相談会では、検診・治療を行うのではなく、あくまでも、お口の困り事の相談会です。